

様式第四

土石の堆積に関する工事の許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法 { 第 12 条第 1 項 } { 第 30 条第 1 項 } の規定により、許可を 申請します。 〇〇年 〇月 〇〇日 宮崎県知事 殿 申請者 氏名 〇〇 〇〇			※手数料欄		
1	工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	宮崎県〇〇市〇丁目〇〇 〇〇株式会社 〇〇 〇〇 (〇〇県〇〇市〇丁目〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇)			
2	設計者住所氏名	〇〇県〇〇市〇丁目〇〇 株式会社△△ △△ △△			
3	工事施行者住所氏名	〇〇県〇〇市〇丁目〇〇 株式会社◇◇ ◇◇ ◇◇			
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	〇〇市〇〇町〇〇番地〇 (緯度：△△度△△分△△秒、経度：△△度△△分△△秒)			
5	土地の面積	4,500.00 平方メートル			
6	工事の目的				
7 工 事 の 概 要	イ 土石の堆積の 最大堆積高さ	6.50 メートル			
	ロ 土石の堆積を行う 土地の面積	4,000.00 平方メートル			
	ハ 土石の堆積の 最大堆積土量	20,000.00 立方メートル			
	ニ 土石の堆積を行う 土地の最大勾配	1 / 12			
	ホ 勾配が十分の一を 超える土地における 堆積した土石の崩壊を 防止するための措置	該当しない			
	ヘ 土石の堆積を行う土地 における地盤の改良 その他の必要な措置	なし			
	ト 空地の設置	番 号	空地の幅		
			メートル		
チ 雨水その他の地表水を 有効に排除する措置	U 字側溝 (内法寸法 30 センチ)				
リ 堆積した土石の崩壊に 伴う土砂の流出を 防 止 す る 措 置	防護柵工 (鋼矢板 高さ 7.00 メートル)				
ヌ 工事中の危害防止 の た め の 措 置	・工事区域内にバリケード設置 ・工事車両について、ガードマンを配置し交通整理				
ル そ の 他 の 措 置	なし				
ヲ 工事着手予定年月日	〇〇年 〇 月 〇〇 日				
ヅ 工事完了予定年月日	〇〇年 〇 月 〇〇 日				
カ 工 程 の 概 要	〇〇年〇月〇日～〇〇年〇月〇日				
8	その他必要な事項 特になし				
※受 付 欄		※決 裁 欄		※許可に当たって付した条件	※許可番号欄
年 月 日				年 月 日	
第 号				第 号	
係員氏名				係員氏名	

・工事の請負契約の注文者または請負契約によらないで、自らその工事をする者を記載。

・資格を有する者の設計によらなければならぬ工事を含む場合には、〇印を付し、資格を有することを証する書類を申請書に添付

・工事の請負人または請負契約によらないで、自らその工事を施行する者を記載。

・申請地内の土地について、地番までそのすべてを記載。
・申請地を工区に分けたときは、工区別に工区内の土地について、地番までそのすべてを記載 (記載欄に記載できない場合は、別紙に記載)。
・代表地点の緯度経度は、申請地の中心地点を基本とし、位置を正確に表すため、秒については小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを記載。

・許可申請に関連のある土地の総面積であって、盛土、切土を行わずに道路、法面等を含む。
・申請地を工区に分けたときは、工区別に面積を記載。

・対象の土石の堆積の最大高さを記載。最大高さは、現況地盤面と土石の堆積後の地盤面の差が最も大きくなる箇所を記入。

・許可申請の対象となる土地の面積、即ち、土石の堆積をする土地の面積であって、手数料の額を判定する面積。

・工程表を添付。

・他法令による許認可の状況をすべて記入。